

令和5年（2023年）7月10日に 福岡県、大分県に大雨特別警報を発表した事例

令和5年8月 気象庁大気海洋部

気象と災害の概況

■ 概要

- 7月7日から10日にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、前線の活動が活発となった。九州北部地方では、8日昼過ぎから断続的に非常に激しい雨※1が降り、10日午前中には福岡県、佐賀県及び大分県で複数の線状降水帯が発生し猛烈な雨※2が降った。
- 今回の大雨において、気象庁は10日朝に福岡県及び大分県を対象に大雨特別警報を発表した。
- 7月7日から10日にかけての総降水量は、九州北部地方で600ミルを超え、記録的な大雨となった。なお、4日間で平年の7月の月降水量を超えた地点があった。
- この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

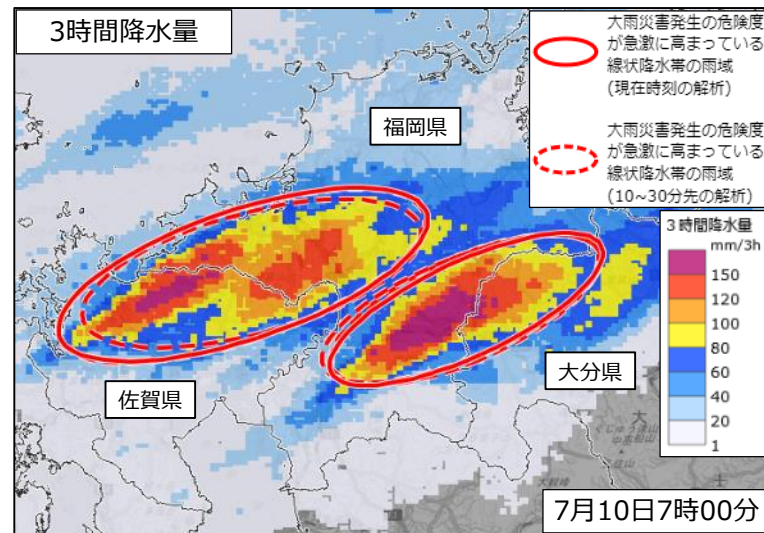
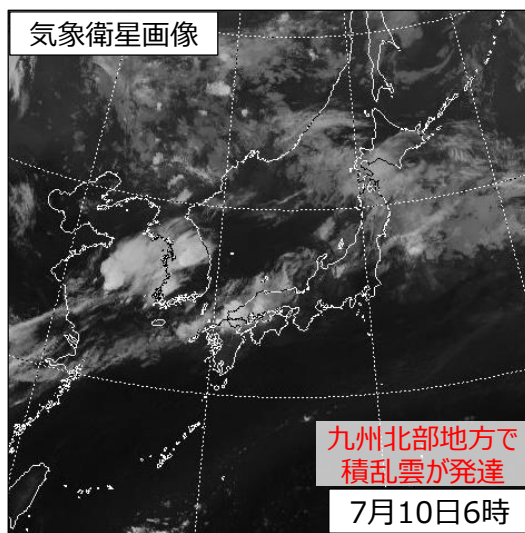
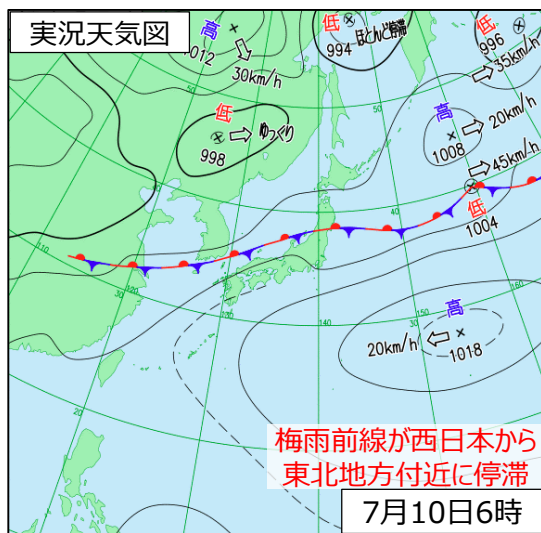
※1 非常に激しい雨：1時間に50mm以上80mm未満の雨 ※2 猛烈な雨：1時間に80mm以上の雨

■ 被害状況（令和5年7月18日08:30内閣府とりまとめによる※） 福岡県、大分県のみ抜粋

福岡県：死者5名、負傷者8名、住家全壊5棟、住家半壊4棟、住家一部損壊14棟、床上浸水237棟、
床下浸水289棟

大分県：死者2名、住家全壊4棟、住家半壊1棟、住家一部損壊18棟、床上浸水37棟、床下浸水114棟

※ 内閣府とりまとめでは、大雨特別警報を発表した当該事例前後の大雨被害も累積しているため、本資料においては7月18日資料までで示す。



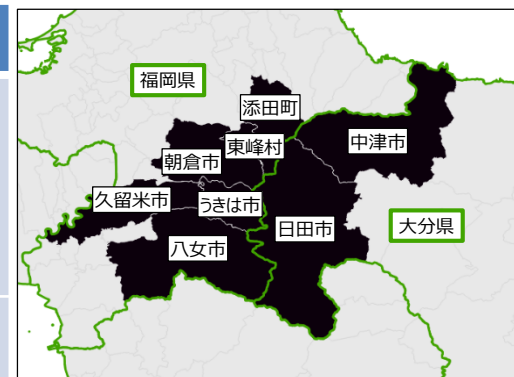
7月10日に福岡県、大分県に対して特別警報を発表した際の気象状況

左：天気図 中央：気象衛星画像 右：3時間降水量（気象レーダーによる解析）

特別警報発表状況と降水量について

■大雨特別警報の発表状況

都道府県	発表地域	発表時刻	警報への切替時刻
福岡県	朝倉市、東峰村	7月10日06時40分	7月10日17時30分
	添田町	7月10日07時20分	
	久留米市、うきは市、八女市	7月10日07時30分	
大分県	日田市	7月10日08時00分	7月10日17時31分
	中津市	7月10日09時05分	



■ 特別警報の発表地域

■7月10日の降水量について

福岡県・大分県の1時間降水量期間最大値（観測史上1位更新地点）

都道府県	市町村	地点	更新した値(mm)	日時分
福岡県	久留米市	耳納山（ミノウサン）	91.5	7/10 09:15
大分県	豊後高田市	豊後高田（ブンゴタカダ）	61.5	7/10 09:25

福岡県・大分県の24時間降水量期間最大値（観測史上1位更新地点）

都道府県	市町村	地点	更新した値(mm)	日時分
福岡県	田川郡添田町	英彦山（ヒコサン）	423.0	7/10 09:50
福岡県	久留米市	耳納山（ミノウサン）	402.5	7/10 09:30

雨量の予想と実際の状況について（福岡県・大分県）

- 福岡県及び大分県では、複数の線状降水帯が発生し、10日18時までの24時間に400ミリを超える記録的な大雨となった。9日夕方の時点では、前線が対馬海峡に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、九州北部地方では大雨となることは予想していたが、線状降水帯が発生して雨量が一部の地域で極端に多くなるような状況は予想していなかった。そのため、福岡県と大分県では予想を大幅に上回る大雨となった。

※詳細は、線状降水帯の検証資料（<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jirei/senjokousuitai/R050710.pdf>）を参照。

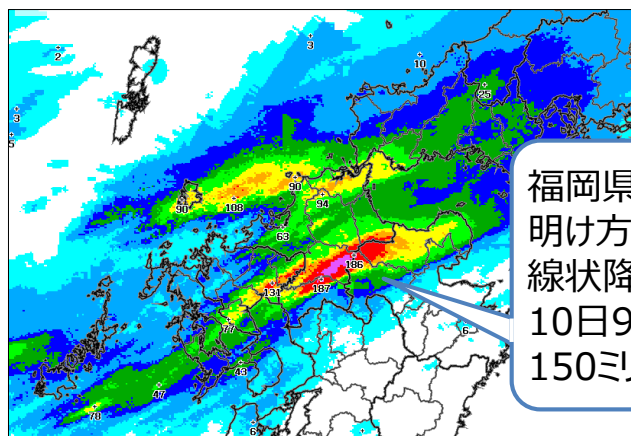
9日夕方の時点の予想3時間雨量（多い所）

10日	03時～06時	06時～09時	09時～12時
福岡県	90 ミリ	90 ミリ	90 ミリ
大分県	60 ミリ	60 ミリ	60 ミリ

（線状降水帯が発生した時間帯）



10日9時までの3時間雨量（実況*）



福岡県及び大分県では、10日明け方から昼前にかけて複数の線状降水帯が発生した。10日9時までの3時間で、150ミリを超える大雨となった。

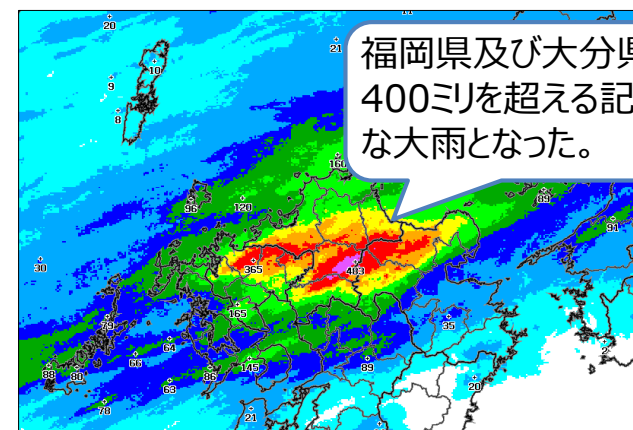
0.4 2 10 20 40 60 80 100 160 mm

9日夕方時点の予想24時間雨量（多い所）

	10日18時まで
福岡県	200 ミリ
大分県	150 ミリ



10日18時までの24時間雨量（実況*）



福岡県及び大分県で、400ミリを超える記録的な大雨となった。

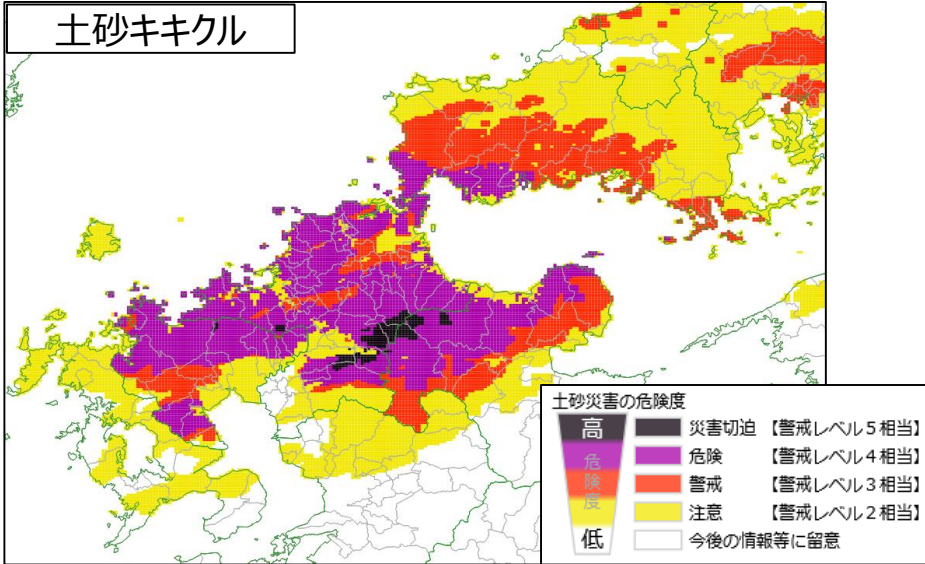
0.4 5 25 50 100 150 200 250 400 mm

* 実況の雨量はいずれも解析雨量による。

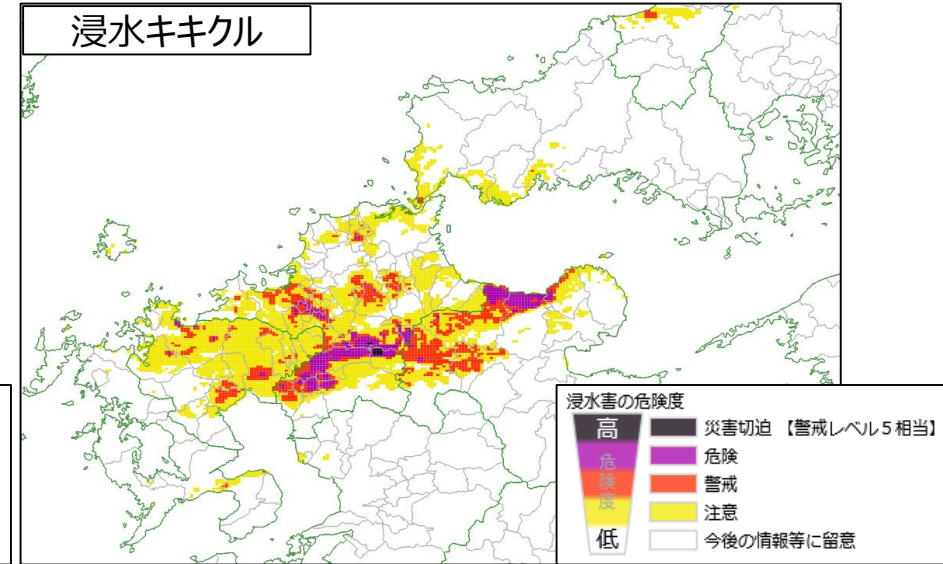
キキクル（危険度分布）の状況

- 特別警報を公表した福岡県、大分県を中心に「危険」（紫）が広がり、一部では「災害切迫」（黒）も出現した。

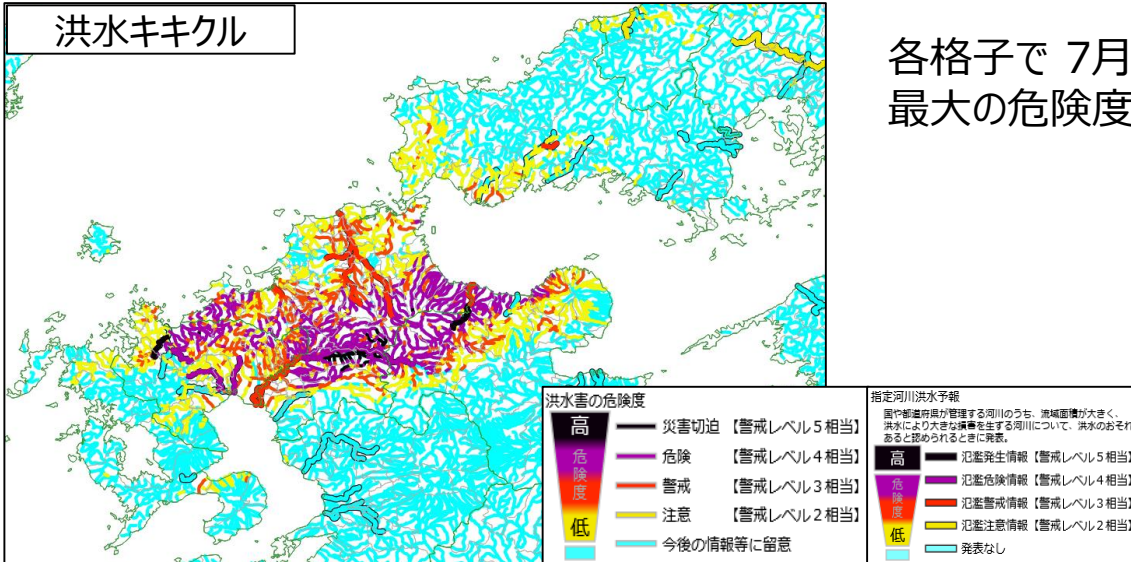
土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



各格子で 7月9日15時から10日15時に出現した最大の危険度